

館山市・南房総市定住自立圏 共生ビジョン（案）

令和 3 年 ● 月 ● 日

千葉県館山市・南房総市

目 次

1. 定住自立圏共生ビジョンについて	1
(1) 定住自立圏構想の概要	1
(2) これまでの取組	●
(3) 定住自立圏の名称	●
(4) 圏域を形成する市町村の名称	●
(5) 共生ビジョンの目的	●
(6) 共生ビジョンの計画期間	●
2. 圏域の概況	●●
(1) 圏域の概況	●●
(2) 圏域の課題	●●
(3) 圏域の結びつき	●●
3. 圏域の将来像	●●
(1) 圏域の将来像	●●
(2) 圏域の将来展望人口（将来推計人口）	●●
4. 定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組	●●
(1) 体系図	●●
(2) 生活機能の強化に係る政策分野	●●
(3) 結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野	●●
(4) 圏域のマネジメント強化に係わる政策分野	●●
5. 共生ビジョンの進捗管理等について	●●
6. 資料編	
(1) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョンの策定経過	●●
(2) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	●●
(3) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	●●
(4) 中心市宣言書	●●
(5) 館山市・南房総市定住自立圏形成協定書	●●
(6) 定住自立圏構想推進要綱	●●

1. 定住自立圏共生ビジョンについて

(1) 定住自立圏構想の概要

我が国は、今後、総人口の減少及び少子・高齢化の進行が見込まれます。今後は、三大都市圏でも人口減少が予測されますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子・高齢化が見込まれています。

このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

定住自立圏構想は、市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体に必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

(2) これまでの取組

令和元年9月27日 館山市が定住自立圏構想における「中心市宣言」を行う。

令和2年7月3日 館山市と南房総市が定住自立圏形成協定を締結。

(3) 定住自立圏の名称

館山市・南房総市定住自立圏

(4) 圏域を形成する市町村の名称

館山市、南房総市

(5) 共生ビジョンの目的

本ビジョンは、本圏域が定住のために必要な生活機能を確保するとともに、自立のための地域基盤を育み、地域の活性化を図るために必要な具体的取組を示すものであります。

(6) 共生ビジョンの計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

2. 圏域の概況

(1) 圏域の概況

千葉県南端に位置する本圏域は、館山市と南房総市で構成され、西は東京湾、東は太平洋に面し、海岸線は南房総国定公園に指定されています。内陸部には緑豊かな田園や照葉樹林の丘陵が広がっており、年間平均気温は16℃以上と、冬でも花が咲き誇る温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。半島性という地理的特性を有しながら、東京湾アクアラインと東関東自動車道館山線の全線開通により、東京都心からのアクセスは飛躍的に向上しました。

館山市

●市のマーク



館山市の紋章は、カタカナの「タ」と「テ」が漢字の「山」を囲む図柄となっています。(昭和14年12月設定)

●人口 45,117人(総務省「国勢調査」2020速報集計)

●面積 110.05km²

●市の紹介

温暖な気候に恵まれ、1月にはポピーやストック、菜の花が咲き誇り、花畑は満開になる「花のまち」です。34.3kmの変化に富んだ海岸線には、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれる館山湾越しに臨む富士山や夕日の絶景、美しい砂浜が広がる平砂浦海岸など、数多くの景勝地が存在し、また、サンゴやウミホタルの生息域として貴重な海洋生物資源を有しています。さらに、スキューバダイビングをはじめとしたマリンスポーツや夏の海水浴の適地としても知られています。「館山夕日栈橋(館山湾多目的観光栈橋)」や交流拠点「“渚の駅” たてやま」の完成により、海の玄関口としての整備も進んでいます。

南房総市

●市のマーク



7つの地域を広がりのある花びら7枚にたとえて、南房総の暖かい春のイメージを図案化したものです。

南房総市の夢と希望が自然と共存し発展する姿を表しています。

●人口 35,844人(総務省「国勢調査」2020速報集計)

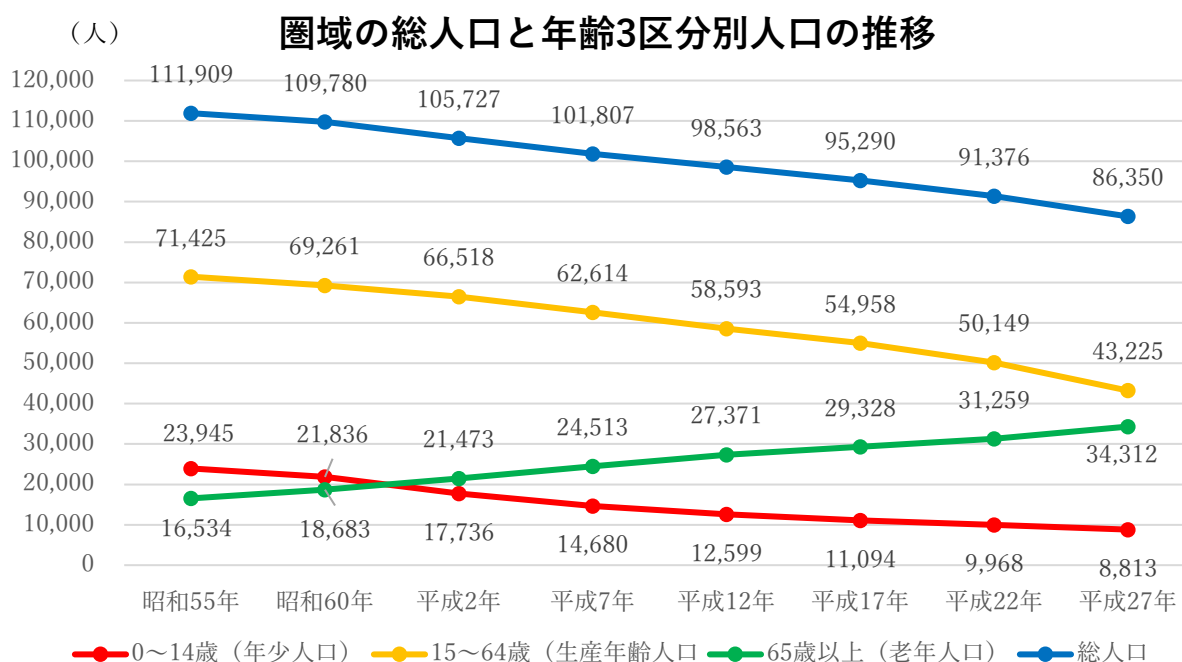
●面積 230.10km²

●市の紹介

平成18年3月20日に安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の6町1村が、その区域をもって合併しました。市域の北側には県下最高峰の愛宕山(408m)をはじめ、富山(349m)、伊予ヶ岳(336m)などの緑濃い山々が連なり、他の三方は東京湾と雄大な太平洋に面した自然の恵み豊かな地域です。暖流の影響により冬は暖かく夏は涼しい海洋性の温暖な気候で、一部無霜地域を有しています。四季折々に咲き乱れる花々などの豊かな自然資源と、古代から近代に至る遺跡や社寺などの歴史的資源を有しています。

・人口の推移

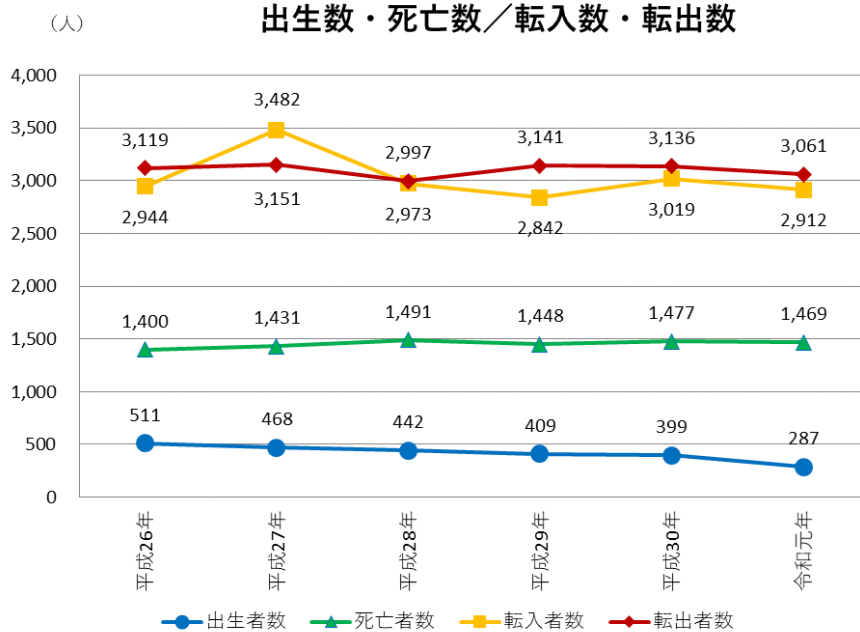
圏域の総人口は昭和55年の111,909人から一貫して減少しており、平成27年には86,350人となっています。年少人口と生産年齢人口は減少傾向にある一方で、老年人口は増加傾向にあります。



出典：総務省「国勢調査」

・人口動態（出生数・死亡数／転入数・転出数）

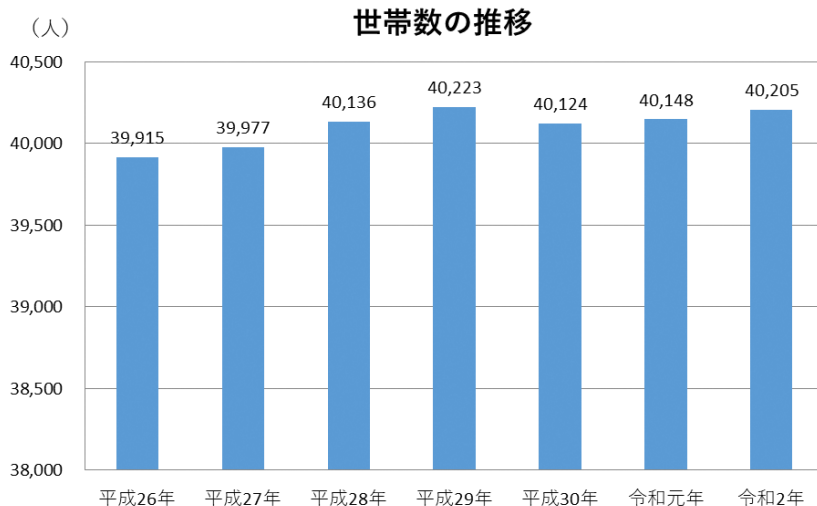
死亡数はほぼ横ばい、出生数は減少傾向にあり、自然減の状態が続いています。社会増減は年によって変動がありますが、転出者数が転入者数と若干上回る年が多くなっています。



出典：千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）

・世帯数の推移

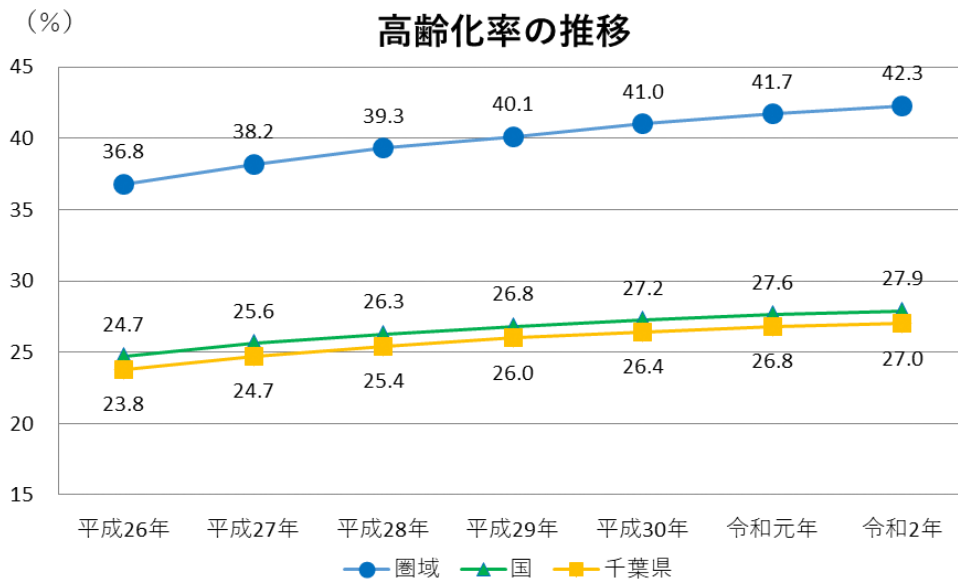
世帯数については、平成29年までは増加傾向にあり、平成30年と令和元年で減少したものの、令和2年において再度増加しています。



出典：千葉県年齢別・町丁字別人口調査（住民基本台帳人口ベース）

・高齢化率の推移

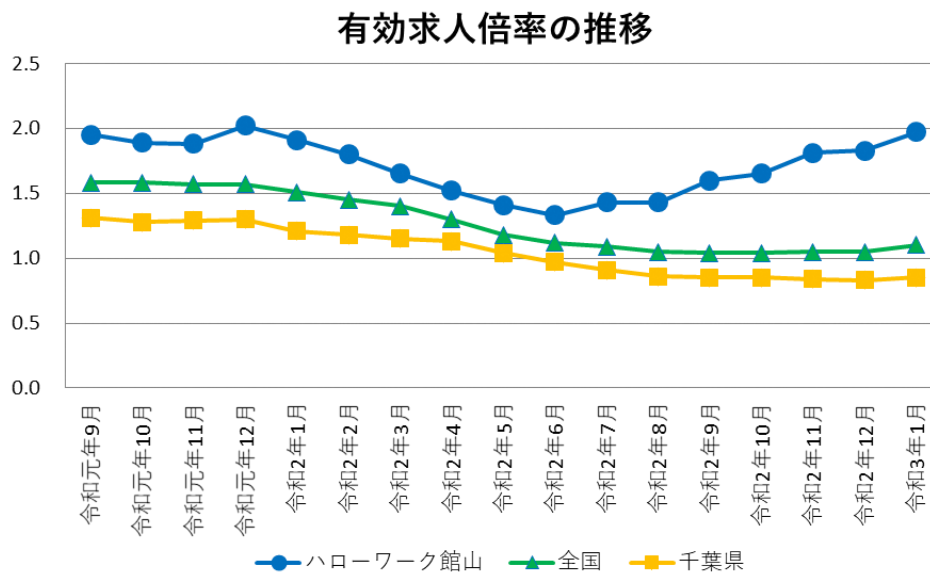
国や千葉県と比べると、圏域の高齢化率は1.5倍程高く、上昇のペースも速くなっています。



出典：「千葉県年齢別・町丁字別人口」（圏域、千葉県の数値。各年4月1日時点。）
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（国の数値。各年1月1日時点。）

・有効求人倍率の推移

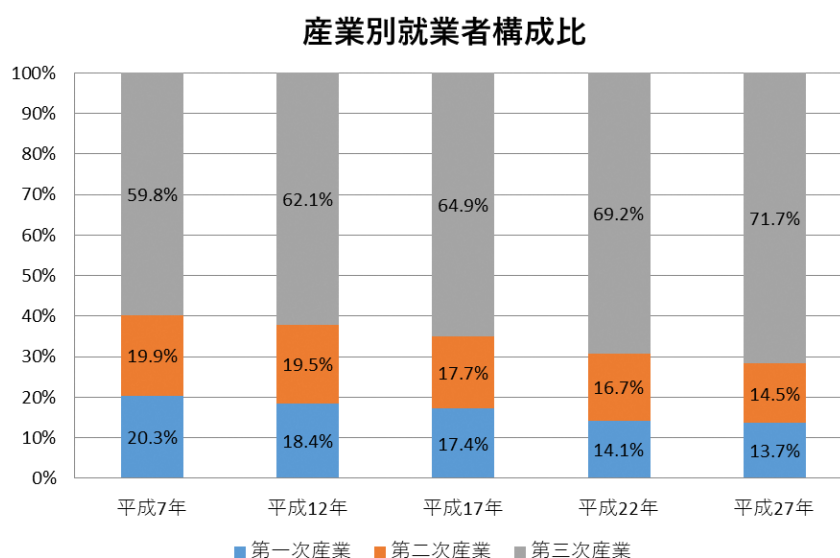
新型コロナウイルスの影響により、令和元年1月より、ハローワーク館山、全国、千葉県ともに下落しています。令和2年7月頃から、全国と千葉県では下げ止まっている一方、ハローワーク館山では上昇してきており、新型コロナウイルス以前の水準近くまで回復しています。



出典：厚生労働省千葉労働局「最近の雇用失業情勢」定例記者発表資料
 ※ハローワーク館山管轄区域：館山市、南房総市、鴨川市、安房郡

・産業関連データの推移

平成7年に約6割だった第三次産業の割合が一貫して増加しており、平成27年には約7割となっています。

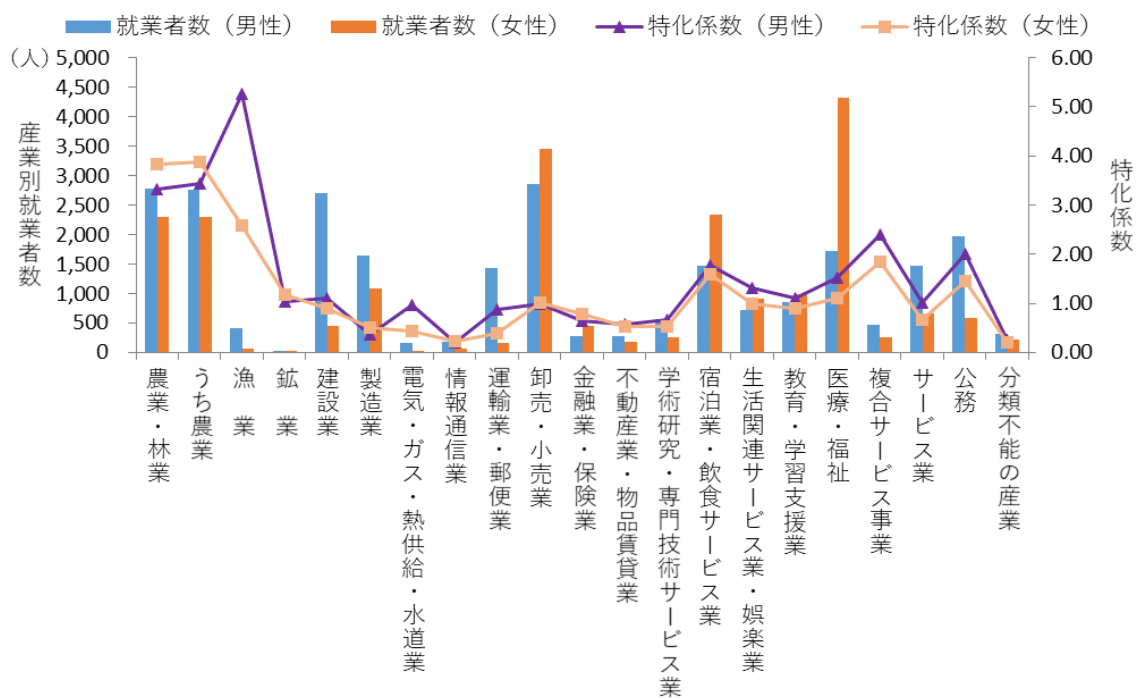


出典：総務省「国勢調査」

就業者数が多い産業は、男性では「農業・林業」、「建設業」、「卸売・小売業」、女性では「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「農業・林業」となっています。特化係数[※]が高い産業は、男性では「漁業」、「農業・林業」、「複合サービス事業」、女性では「農業・林業」、「複合サービス事業」、「宿泊業・飲食サービス業」となっています。

※特化係数：各産業の付加価値額が全産業の付加価値額に占める割合について、国を1とした時の係数。特化係数が大きいものほど特徴的な産業であることを意味する。

産業別就業者数と特化係数

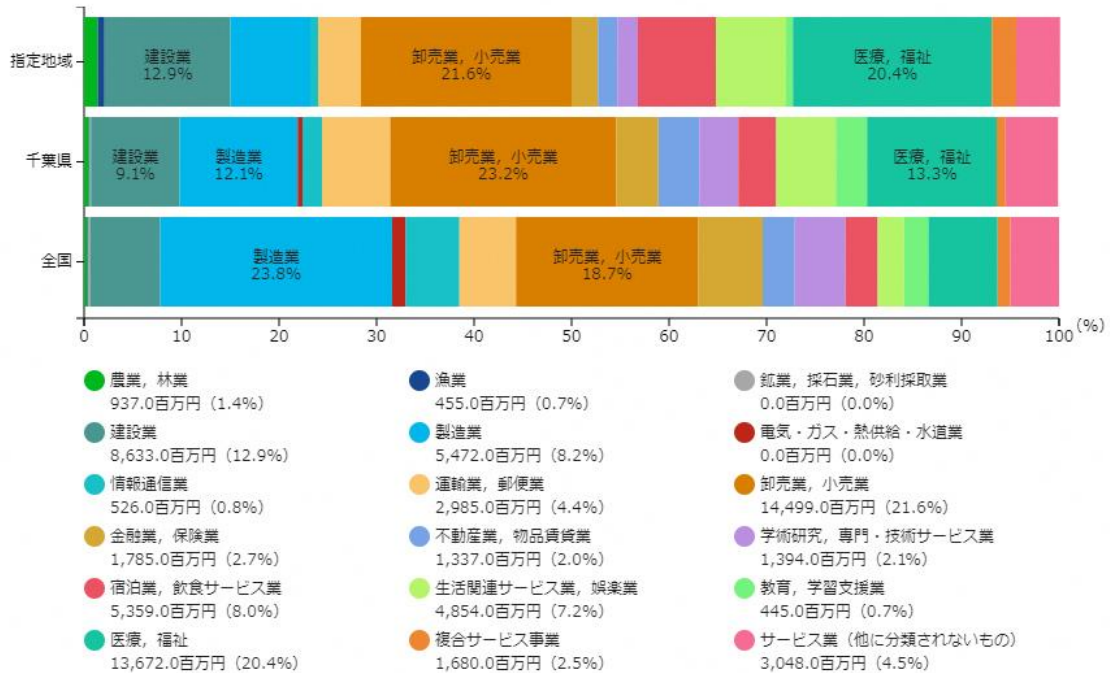


出典：総務省「国勢調査」2015

全国や千葉県と比べると、圏域では「建設業」、「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」の付加価値額の割合が高くなっています。一方、「製造業」の割合は低くなっています。

付加価値額(企業単位) 2016年

指定地域：千葉県龍山市、千葉県南房総市



出典：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、RESASによる再編加工

(2) 圏域の課題

本圏域は東京の中心部から100km圏と、東京都心に近い立地条件にありながら、温暖な気候と輝く海、緑豊かな自然に囲まれ、恵まれた環境のもと、ゆったりとしてあたたかな人々と次世代に引き継ぐべき大切な歴史や伝統・文化を育んできた「住み良い」地域です。しかし、近年では人口減少と少子高齢化の進展、若年層の流出など日本全体が抱える構造的な人口問題により、自治体そのものの持続性・継続性が危ぶまれています。

これらのことを踏まえ、子どもが生き生きと育つ環境づくりに努めながら、若年層の定住・移住を促していくために、課題を次のとおり整理します。

①本圏域で子どもが生き生きと育つ環境をつくる。

2015年(平成27年)国勢調査によれば、圏域の15歳未満人口は、8,813人となっており、2012年(平成25年)の9,968人から約1,000人も減少し、少子化がさらに進行しています。安心して子どもを産み、育てられる環境づくり、子どもがのびのびと、生き生きと育つ環境づくりをより加速化していく必要があります。

②本圏域で働ける、経済が元気な環境をつくる。

本圏域は、東京からのアクセスの良さを活かした観光業や恵まれた気候・風土の下で培われてきた農水産業、地域の拠点性の高さを利用した商工業が中心となっています。本圏域のように、豊かな自然と多様な地域資源に恵まれた地域への関心も高まり、健康・観光など、さまざまなビジネスチャンスも生まれるものと思われます。企業のみならず、起業家などの人材誘致に努めつつ、本圏域の強みを活かした産業と雇用の場づくりに努めていく必要があります。

③本圏域に住み続ける人・移り住む人・関わる人を増やす

本圏域の暖かい気候と風土は、子育てに適した「住み良い」地域です。これは、特に東京など都市に暮らす人々にとっても魅力です。あらゆる機会を捉え、積極的に本圏域の住みやすさについて情報発信に努めるとともに、住民・事業者などと連携して移住を支援していく必要があります。

また、本圏域に居住しなくとも、週末を本圏域で過ごす、観光で訪れる、仕事で縁ができたなど、さまざまな形で本圏域と関係を築く人を増やしていくことも重要です。

(3) 圏域の結びつき

館山市と南房総市では、行政区域を超えるさまざまな住民ニーズに対応するため、連携し調整を図りながら共同による行政事務所処理を実施しています。

制度	名称	主な共同処理事務の内容	構成自治体
一部事務組合※	安房郡市広域市町村圏事務組合	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理施設に関すること ・火葬場に関すること ・消防に関すること ・市町村等職員共同研修に関すること ・市町村等職員採用試験に関すること ・地域救急医療対策に関すること 	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
その他	房州うちわ振興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・房州うちわの需要開拓事業 ・伝統工芸品出展 出展事業 ・児童・生徒に対する伝統 	館山市 南房総市

		的工芸品教育事業 ・後継者育成事業	
	南房総・館山地域 公共交通活性化 協議会	・網形成計画の策定及び 変更の協議に関する事 こと ・網形成計画の実施に係 る必要な協議に関する事 こと ・網形成計画に位置づけ られた事業の実施に関する 事 こと	館山市 南房総市
	南房総観光連盟	・観光推進、振興に関する 事 こと	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
	宿泊・滞在型観光 推進協議会	・観光推進に関する事 こと	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町 富津市
	「新型コロナワ クチン接種」の集 団接種の予約受 付	・「新型コロナワクチン接 種」の集団接種の予約受 付に関する事 こと	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町

※一部事務組合：2以上の地方公共団体が、その事務の一部を共同して処理するために協議により規約を定めて設置する事務の共同処理機構。

3. 圏域の将来像

(1) 圏域の将来像 ～ブランドメッセージ～

我が国では少子高齢化の急速な進行や、産業・経済のグローバル化・デジタル化など、これまで経験したことのない大きな転換期を迎えています。

地方においても人口減少の加速や地域経済の低迷など、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しいものとなっており、地方自治体の効率的かつ効果的な行政システムの構築が求められています。館山市と南房総市はこれまで、粗大ごみ処理施設や火葬場、消防、地域医療対策などを共同処理事務として取り組んできました。

将来に向けて、複雑多様化する課題に対応しながら、本圏域が持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開に加え、圏域の2市それぞれが持つ都市機能や地域資源を有効に活用し合いながら、様々な課題に対して相互に連携し、圏域全体で生活に必要な機能を充実・確保することがこれまで以上に重要となっています。

具体的には、子どもから高齢者まで、安心して生きがいと潤いのある生活が送れるよう、医療・福祉体制の確保、教育環境の充実など、全ての住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを進めます。

さらに、2市が互いに協力・連携することで、医療・福祉サービスの充実、商業・観光の振興、教育文化及び健康・スポーツ活動などにおける交流人口の拡大や圏域への流入を促進するとともに、地域を支える人材育成にも努め、地域資源を活かした魅力あふれる地域づくりを推進します。

★ブランドメッセージ、スローガンの検討

	館山市	南房総市
将来像	笑顔あふれる自然豊かな「あったかふるさと」館山	ひと ゆめ みらい 地域で創る 魅力の郷 南房総
重視する視点	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひと」をはぐくむ ・「しごと」を創る ・「まち」を築く ・「くらし」を支える 	—
重点プロジェクト	(1) “海”の魅力アッププラン (2) “食”の豊かさアッププラン (3) “若者”の元気アッププラン (4) “ふるさと”の誇りアッププラン	(1) 子育て支援の充実 (2) 仕事づくりの応援 (3) 移住・定住の促進
市民アンケートからのキー	恵まれた自然 海産物 気候が良い	安心できる 温かみのある 暮らしやすい

ワード	海 花火大会 マリンスポーツ 釣り	温暖な気候 海岸線・港の風景 医療・福祉の充実した 豊かな自然に恵まれた
-----	----------------------------	-----------------------------------------------

上記を考慮したブランドメッセージ、スローガン案

《両市の魅力を総合したもの》

- ・海に囲まれた豊かな暮らし
- ・あたたかな暮らし
- ・本当の「豊かさ」がここにある
- ・ほっとするふるさと

《目指す将来像を描くもの》

- ・子どもがのびのび育つ
- ・人と自然が調和する

《両市の協力・連携に焦点をあてたもの》

- ・つながり、ひろがり、ささえあう
- ・ともに創る開かれたまち

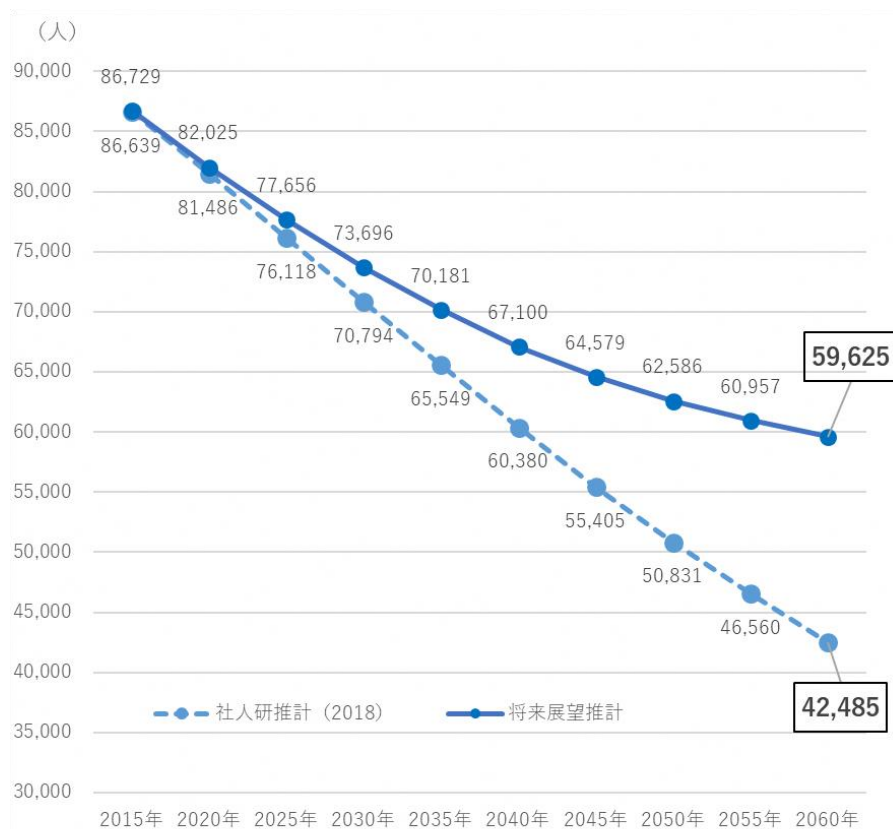
(2) 圏域の将来展望人口（将来推計人口）

・将来展望人口（将来推計人口）

社人研の将来推計人口によると、圏域の人口は一貫して減少し、2060年には42,485人となると予測されています。

人口減少抑制の政策効果によって、将来展望人口は2060年に59,625人となっています。

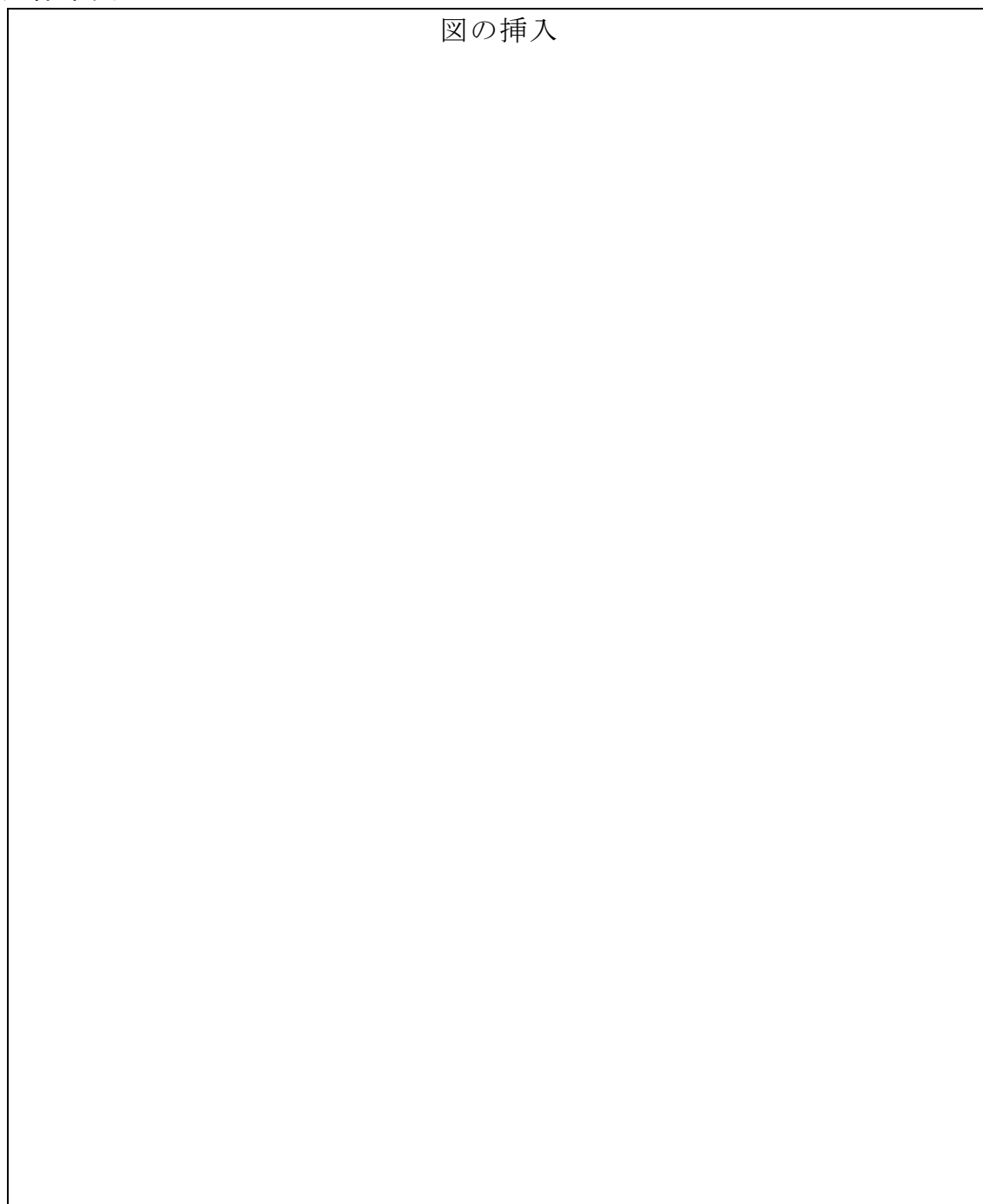
なお、将来展望人口については、両市の人口ビジョンにおける数値を合計したものであり、互いの市からの転入人口を重複して計算していることに留意する必要があります。



第2期館山市人口ビジョンおよび第2期南房総市人口ビジョンを基に作成

4. 定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組

(1) 体系図



(2) 具体的な取組

①生活機能の強化に係る政策分野

<現状と課題>

人口減少、超高齢化社会が加速する中では、子育て・医療・介護・福祉分野の充実が重要な課題です。安房地域の医療福祉体制は全国的にも恵まれており、地域の就業の場としても重要な位置づけとなっていますが、看護

職や介護職などの担い手不足は深刻で、全国的な人材の奪い合いとなっており、人材確保に向けた支援の強化がより一層重要となっています。

学校教育については、いじめや不登校に関する相談や特別な支援を必要とする児童生徒への対応、新たな教育内容の充実などにより教育現場へのニーズは多様化しています。いじめの未然防止や不登校の解消はもとより、よりよい教育環境づくりや郷土愛を育む地域に根差した教育が求められています。

高齢者福祉については、高齢者の増加に伴い、介護予防・日常生活支援といった取組が求められています。高齢者の社会参加や生きがいづくりなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援が必要です。

また、本圏域は温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、新鮮な海産物や豊かな大地で育まれた多様な農産物、加えて、戦国大名里見氏ゆかりの史跡や寺社、首都東京防衛の歴史を物語る戦争遺跡、さらには、温泉や魅力ある海を活かしたスポーツ観光等まで多種多様な観光資源、歴史文化遺産を有しています。今後は食・自然・歴史文化などの地域資源を最大限に活かし、本圏域のさらなる魅力向上が望まれます。

成果指標（KPI）の一覧

指標名	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）

②結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野

<現状と課題>

本圏域では、死亡者数が出生数を上回る「自然減」の状態が長期にわたり継続しています。その傾向は、高齢化の進行とともに強まっており、圏域の人口減少の大きな要因となっています。また、進学や就職等による若年層の流出が多く、結婚・出産適齢期の人口が減少することにより、更なる出生数の減少につながっています。また、転入・転出の状況を見ても、転入者数が転出者数を下回る「社会減」の状態が続いています。人口減少を抑制し、まちの活力を維持するためにも、転出者数を抑え、転入者数を増やす取組が大変重要です。特に、若い世代の移住・定住の促進に注力する必要があります。

成果指標（KPI）の一覧

指標名	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）

③圏域のマネジメント強化に係わる政策分野

＜現状と課題＞

行政に対する住民ニーズは多様化・高度化しており、自治体職員には的確な対応が求められています。このため、自治体職員の執務に必要な基本的な知識・技術の習得により、行政課題に対して積極的に対応できる職員の養成をしていくことは重要です。

また、行政の効率化、住民サービスの向上のためにも、ICT（情報通信技術）の活用や圏域で保有する統計等のオープンデータ化により、データに立脚した官民の取組を進めていく必要があります。

成果指標（KPI）の一覧

指標名	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）

5. 共生ビジョンの進捗管理等について

具体的取組を進めるに当たっては、時代のニーズや社会情勢の変化に応じて、館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会等において関係者の意見を幅広く反映するとともに、設定した成果指標及び各種取組の進捗状況等を基に、事業の検証と検討を行います。

6. 資料編

- (1) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョンの策定経過
- (2) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- (3) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿
- (4) 中心市宣言書
- (5) 館山市・南房総市定住自立圏形成協定書
- (6) 定住自立圏構想推進要綱